

住宅リフォーム助成制度創設、小中学校にエアコン設置、 降雪被害への緊急支援対策、高すぎる公共料金引き下げ、など

市民の願いを予算修正案にして提出！

2月3日から開催された2月定例会（予算議会）は、市長提出議案31件、議員提出議案1件、選挙1件、選任1件が上程・審査されました。

党議員団は、市民の願いを予算化しようとして一般会計の他、国保、介護、水道の特別会計に初めて「修正案」を提出。3月6日に討論採決などが行われ、閉会しました。

31件の議案のうち、党議員団は、22件を賛成。9件に反対しました。

【提案理由】

久喜市は、この間、合併後に先送りした税金と公共料金を相次いで統合し、市民の暮らしに負担増となっています。また、デフレ経済のもとで、市民の収入が減少し、貧困と格差が拡大する中、市民の暮らしは大変苦しくなっています。

こうした社会経済情勢を反映し、私たちが実施している「住民アンケート」に対し、大勢の住民から「水道料金、国民健康保険税、介護保険料を引き下げてもらいたい」、という声が全体の5割から6割にのぼっています。

私たちは、久喜市の主権者である久喜市民の声を真摯に受けとめ、15万5098人久喜市民の「いのちと暮らしを守る」という基本的な見地から、以下の予算修正を行うものです。

その基本は、第一に、貧困と格差社会のもとで、久喜市政が市民の暮らしを応援すること。第二は、地域循環型経済対策をいっそう推進し、久喜市経済を活性化する施策を講じること。第三に、次代を担う子ども達を猛暑から守り、快適な学びの教育環境を速やかに確立すること。第四に、百年ぶりとなった大雪で、市内で多くの被害が発生していますが、雪の被害から市民を支援する緊急対策などを講じていることが特徴となっています。

予算修正内容（事業別・一般会計関連）

- 市民所得が減少するもとで、住民の暮らしを守り、支援する措置を講じる。
 - 高すぎて払いきれない国保税を、加入世帯一人1万円引き下げ44000人に1万円総額4億4000万円
 - 介護保険料を、年間1人平均9000円引下げる。38172人に9000円 総額3億5000万円
- 地元経済の活性化と市民の住宅改修と減災・防災のまちづくりを推進する。
 - 降雪被害への緊急支援対策を講じる。A.農作物見舞金200万 B.農業用施設被害見舞金500万 C.農業用施設再生補助金5000万 総額5700万円
 - 住宅リフォーム助成制度を創設し、地域経済の活性化を進める。1件あたり10万 総額2000万
 - 「被災者住宅再建支援事業」が南栗橋液状化被災者すべての方に届くよう「再建支援金」を設け支援する。支援金をまだ受け取っていない世帯70世帯に50万 総額3500万円
- 子ども達の学ぶ環境を整えるため、夏の猛暑を防ぐエアコン設置を急ぐ。
 - 小中学校のエアコン設置を低学年から順次進め、暑さから子どもを守り教育環境を整備する。165の教室に設置 1台200万 総額3億3000万円
- 市民のコミュニケーション活動を支援する。
 - 旧久喜市のときと同じように、公民館使用料金を無料にする。総減額 ▲947万円
- 市民の暮らし応援にとって不必要な事業は中止し、市民のための予算に回す。
 - 法が失効している同和事業の廃止。総減額 ▲286万3千円
 - 市民にとって不必要な、社会保障・税番号制度対応システム改修事業の停止。総減額 ▲1億3930万円

以上の予算修正を実施する金額は約13億7416万円となります。

（提案理由の全文、修正案全項目などは、市のホームページを参照してください。右の枠内参照）

検索・クリックの順序

- ①久喜市HP
- ②市議会
- ③提出議案とその結果
- ④26年2月定例会で
- ⑤議案番号右の件名を



4名の各議員、一般質問でもがんばりました



渡辺まさよ
議員

久喜市営釣り場の改善について

問 久喜市営釣り場は、年々赤字を増やし、大変厳しい経営になっている。魚が釣れない、老朽化している、魚が網の外へ出ている、放流量が少ない、ブラックバスが釣れてしまうなどこれまで指摘したが、改修・改善はどれくらい進んだか。

答 大池の流入入り口の網かさ上げと、防鳥網を設置した。ブルーギル駆除もしている。

問 来客増のための工夫、検討委員会の協議はどのように進んでいるのか。

答 シルバーの理事、釣り場管理者、市職員の8名でこれまで4回の検討を重ねた。他市の釣り場も見ながら検討を続けている。

要望 釣れる釣り場にして欲しい。

そのほか、以下の質問を行いました。

②、少人数加配の配置は、減らさずにし、市として必要な措置を望む。

③、清久公園の管理はきちんとすべきである。

④、国保税の引き下げをすべきである。



もっと釣れる釣り場に



石田としはる
議員

水道料金引き下げ、市民の暮らし応援を

年金が引き下げられ、物価が上がり、消費税増税が予定されている中、市民の暮らしは厳しさを増している。暮らしを守る立場から水道使用料を引き下げるべきと考えます。

問 平成24年度決算で純利益が7億円、現金残も35億円から41億円と増加。平成25年度の見込み額はいくらになるか。

答 見込み額は、42億9,027万円です。

問 料金改定時検討した10年間の事業、中期計画と現在の現金残高を比較すると約10億円多くある。計画より多い現金残高があると認めるか。

答 計画との数字に差異がある。

問 市民が利用する13mm、20mm口径の使用料10%引き下げた場合の財源は。

答 必要な額は2億4,650万円。

問 中期計画と比較して差異が多く出ており値上げし過ぎたと言える。値上げし過ぎた分は返却するのがものの道理ではないか。

市長答弁 現金に差異があるが長期の経営安定をめざしての料金改定で、施設の老朽化もありご理解を願いたい。

(要望) 中期計画は老朽化など含めて計画したもので、その計画より現金残がある。市民の暮らしを応援するため使用料引き下げの検討をすべき。

その他の質問 栗橋商店街が暗い、明るい街に。指定管理となるグラウンド整備をしっかりと。公民館にある体育館、スポーツ少年団の利用料は無料に。佐間・八甫の道路(680号線)につながる間鎌からの道路整備を。



杉野おさむ
議員

大雨時の冠水対策推進を

鷲宮地域では、大雨時の冠水対策は急務である。住民が声を上げ、改善は進んできたが、今回は、わし宮団地周辺の対策を伺う。

問 団地周辺水路の改修が急がれる。繁茂した水草や、土砂を浚渫されたい。

答 すぐ調査をして改善に努めたい。

問 「道路のかさ上げ」はどうか。また、団地内の遊水池の機能アップや、新設なども含めて、排水効果があることはいろいろな手法を検討すべきではないか。中でも、冠水対策を前提にしてUR都市機構との協議をぜひ進めて欲しい。どうか。

答 UR側との協議をすすめます。

JR東鷲宮駅西口の整備をすすめよ

問 駅前に公衆トイレを設置してほしいとの要望が長年出されている。費用の算定はしてみたか。

答 2000万円程度である。しかし、設置するスペースを生み出すことがむづかしい。

問 考え方を柔軟にすれば見えてくる。無料駐輪場の跡地計画も決まっていないうち、無料スペースを残して利用できるようにされたい。若者が有料に止められなくて歩いて通勤している。若者にやさしい街であってほしい。

答 考えていない。

そのほか「東日本大震災避難者」「被災地」への支援の継続を求めました。



木村とものり
議員

「プログラム法」と介護保険制度の改悪について

問 安倍政権による消費税増税と一体的に進められている社会保障制度改悪の「プログラム法」により、介護、年金、生活保護など切り捨てが行われようとしている。その一方で自助・自立の名の下で自己責任論ばかりが優先され、「保険あってサービスなし」は問題である。たとえば①介護保険の生活援助の時間短縮が60分から45分に短縮された影響は大きい。

②特別養護老人ホームの入所基準が厳しくなり、要介護1、2が事実上入所出来なくなること待機者の居宅サービスなどの実態調査をすべきだ。③特養ホームの待機者を将来どのように改善・解消するのか伺う。

答 ①時間短縮で改正後随分減らされた、内容も変わった人がいる事は認識しているが、必要なサービスは提供されている。②待機者は重複があり、のべ518人。その中で介護1、2は152人。次期計画のアンケートで実態も含め検討する。③第5期計画では2施設、200床の整備見込んでいる。さらに待機者が多く計画外ですすめ、希望する事業者もあり検討した経緯があったが、県が採用しなかった。